

発行人：宮本ひでき



今できることを 今するのが私の仕事です。

職業 新見市議会議員
行政書士経歴
平成24年12月新見市役所退職
平成25年度4月新見市議会議員（1期目）
平成27年4月総務常任委員会副委員長
平成29年4月新見市議会議員（2期目）
令和元年5月総務消防常任委員長
令和3年4月新見市議会議員（3期目）
令和3年5月議会広報特別委員長
令和5年5月議会広報特別委員長
令和7年5月議会広報特別委員長
(4期目)
令和7年5月議会運営委員会副委員長
その他
平成25年度4月新見市農業委員
平成30年4月新見高校PTA会長

見守りGPS（右図）とは、高

認知症高齢者が行方不明になられた時でも、速やかに居場所を確認する手段として、有効であると考えられます。

また、認知症高齢者が行方不明になられた時でも、認知症の方と離れていても、常に、居場所の確認ができ、家族の負担軽減になると考えています。

見守りGPSを導入することによって、認知症の方と離れていても、常に、居場所の確認ができ、家族の負担軽減になると考えています。

「お見えりシール」です。



© Kyoso Mirai Group

見守りデジタル機材導入

A級グルメの方向性

令和7年12月定例会

令和7年12月新見市議会定例会は、11月28日から12月19日までの会期22日間で開催されました。2日目3番目の質問者として一般質問をしました。

見守りデジタル機材導入 認知症高齢者の見守り支援

全国的な高齢化の進展とともに本市においても、認知症高齢者の増加は現実的かつ喫緊の課題となっています。認知症は、決して特別なものではなく、誰もが年齢や環境により発症し得る身近な問題です。ご本人だけでなく、ご家族、近隣住民、地域社会全体に深く影響を及ぼします。

認知症高齢者の見守りとしてどういった対策を取られているのか具体的にお示しください。

認知症高齢者の見守りについては、民生委員、福祉委員等による見守りに加え、独居高齢者への個別訪問を社会福祉協議会へ委託して実施しています。また、高齢者等事業者見守りネットワーク事業において、事業者による見守り活動など、可能な限り多くの方々

行政と市民が一体となって、取り組むべき重要政策であると認識しています。

認知症高齢者の見守りとしてどのような対策を取られているのか具体的にお示しください。

認知症高齢者の方を家族などの方がいつも見守ることは、仕事の関係

た時には、消防署等からの要請に応じ、情報提供を行っています。見守りなどを行つていただいているが、万一、行方不明になられますが、万一小失見守りなどを行つてください。

認知症の方を家族などの方がいつも見守ることは、仕事の関係

た場合には、消防署等からの要請に応じ、情報提供を行っています。見守りなどを行つていただいているが、万一、行方不明になられますが、万一小失見守りなどを行つてください。

この見守りGPSの導入により、従来、家族が常時見守る必要があった状況において、仕事中や外出中であつても、遠隔で確認が可能となります。家族介護者の心理的・時間的負担を、大幅に軽減するものと考えますが、執行部のお考えをお示しください。



個人の位置情報を、人工衛星を利用して現在地を取得し、その情報を家族や支援者が、スマートフォンや、専用ウェブシステムを用いてリアルタイムに確認できる見守り支援サービスです。



にいみタイムズ

今できることがあります。
今のが私の仕事です。

発行 宮本英基
新見市高尾1958番地7
0867-72-7671
090-9733-7671
info@miyamotohideki.jp



友だち募集中！



を読み取ることで、事前に登録された家族や支援者に通知が届きます。通知には、位置情報や状況などが含まれることがあり、家族との連絡手段として機能します。

また、制度として、市が支援する場合、家族・地域包括支援センター・警察・地域・民間事業者等が連携することで、地域全体で見守る体制の整備につながるものだと思います。

「おかげりシール」は、本市にとって必要なものだと考えますが、執行部のお考えをお示しください。

「2次元コード付きシール」の導入については、認知症の方が、行方不明になられた時など、発見した人が「2次元コード」を読み取ることで、家族に連絡することができることから、見守り体制の一つになると考えてています。

「見守りGPS」や「おかげりシート」は、全国的にも増えてきています。本市も導入を考える時期に来ていると考えますが、市長のお考えをお示しください。

「見守りGPS」や「2次元コード付きシート」の導入についても増えてきています。認知症の方が行方不明になられた時に、早期発見するための有効な手段と考えています。

高齢者やそのご家族が安心して生活できる体制の整備を進めてまいります。

「A級グルメ」についてお伺いいたします。

A級グルメの方向性

「A級の誇り」ステッカー導入は

「A級グルメ」についてお伺いいたします。

新見駅にある看板（左の写真）です。看板の「まち新見市へようこそ」という大きな看板の前で、初めて本市を訪れ、記念撮影をされている方は、新見市には、どんなおいしいものがあるのか、お土産には、何を選ぼうかと期待しています。一方で、私自身は、たとえば新見が誇る千屋牛のステーキは、具体的にどこで食べられるのか、そもそも「A級グルメ」とはどういった定義や特徴を持つもののなか、A級グルメに再度光を当て、見直す時期が来ているのではない

かと考えます。今回の一般質問では、「A級グルメ」とは、何かについて、質問をさせていただきます。

一般的には、A級グルメとは、その地域の歴史や文化、特産食材を活かし、そこでしか味わえない「地元密着型のご当地グルメ」を指すものだと考えます。

これがまさしくA級グルメの基

を読み取ることで、事前に登録された家族や支援者に通知が届きます。通知には、位置情報や状況などが含まれることがあり、家族との連絡手段として機能します。

また、制度として、市が支援する場合、家族・地域包括支援センター・警察・地域・民間事業者等が連携することで、地域全体で見守る体制の整備につながるものだと思います。

「おかげりシール」は、本市にとって必要なものだと考えますが、執行部のお考えをお示しください。

「2次元コード付きシール」の導入については、認知症の方が、行方不明になられた時など、発見した人が「2次元コード」を読み取ることで、家族に連絡することができることから、見守り体制の一つになると考えてています。

「見守りGPS」や「おかげりシート」は、全国的にも増えてきています。認知症の方が行方不明になられた時に、早期発見するための有効な手段と考えています。

高齢者やそのご家族が安心して生活できる体制の整備を進めてまいります。

「A級グルメ」についてお伺いいたします。

「A級の誇り」ステッカー導入は

「A級グルメ」についてお伺いいたします。

「A級グルメ」についてお伺いいたします。